

# Urara

OKAYAMA Model 227 series

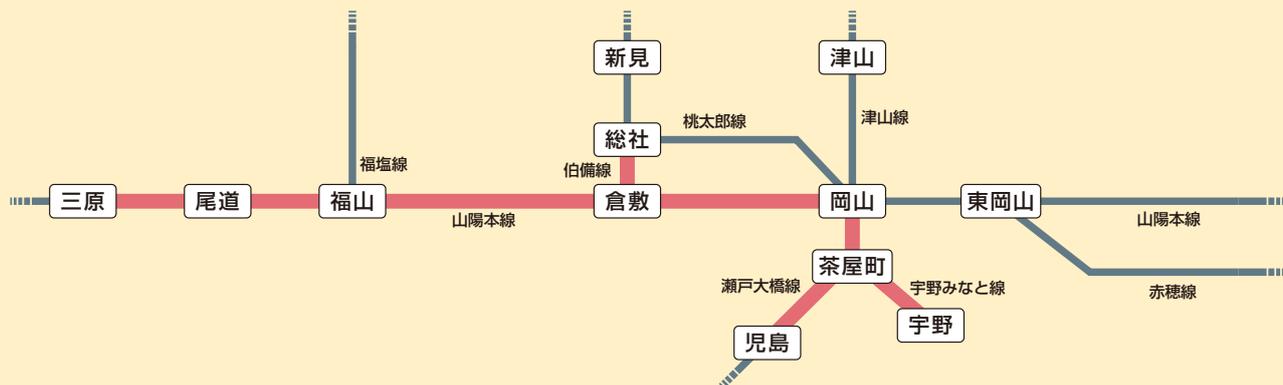


## Design Concept 「豊稔の彩」

岡山・備後エリアにおいて、新型車両「Urara(うらら)」の運行を開始します。  
デザインコンセプトは「豊稔の彩(ほうおんのいろどり)」。「豊稔」とは、豊饒と稔和からなる造語で、岡山・備後エリアの豊かで穏やかな気候・風土を表現しています。  
“Urara”=227系500代は、JR西日本が最新のテクノロジーを駆使した、安全で明るく広く静かで快適な車両です。

## 導入線区

2023年7月より、山陽本線(岡山～三原)、宇野みなの線(茶屋町～宇野)、瀬戸大橋線(岡山～児島)、伯備線(倉敷～総社)で運行を開始。運行区間、線区などは順次拡大を予定しています。



Uraraについて詳しくはコチラ >>>



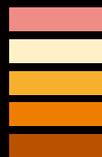
# Concept 《コンセプト》



さらなる安全性向上を目指しながら、「明るく、広く、静かで、快適」という、これまでのJR西日本の車両コンセプトを継承し、バリアフリー化やIT化を更に進め、世の中の新しいニーズに応えた「人にやさしい車両」を追求しました。加えて岡山・備後エリアで活躍する近郊型電車として地域で愛される独自性、特別感、先進性を取り入れることを目指しました。

## Urara(うらら)

日差しが柔らかく、太陽がのどかに照っている様子をあらわす和語「うらら」。この言葉が持つ優しい空気感(表情や響き)は、車両デザインで目指した「岡山・備後エリアの豊かで穏やかなイメージ(デザインコンセプト「豊穡の彩」)」を、意味だけでなく語感としても心地良く伝えます。



- シンボルカラー / 沿線を象徴する豊穡のピンク(岡山の桃/福山のバラ/尾道の桜)
- 暖色のグラデーション / 太陽の恵みや穏やかさを表現

# Safety Improvement 《優れた安全性》



## 編成間転落防止ホロの設置

先頭車の前面には、併結時の編成間への転落を防止する転落防止ホロを設置。従来のソフト対策(音声警報装置・連結面の前照灯点灯)からハード対策への転換を実現しています。



## 戸挟み安全対策

万が一ドアにものを挟んだままホーム上を引きずるのを防止するため、戸挟み検知装置を搭載しています。ドアに傘等が挟まれ、引き抜こうとした時の挙動を検知し、乗務員に知らせます。



## 車内防犯カメラの設置

車内犯罪抑止対策として、近年社会的に需要が高まっている車内防犯カメラを搭載しました。

# Interior Design 《快適な車内空間》

乗車する全ての人がいやすく、乗り心地の良さを感じられるように。車内の安全性向上に配慮し、とっさの際に握りやすい形状、注意を促す視認性の高い色、あらゆる部位の曲線化を図り、快適で安全な客室設備を目指しています。



## ステーションポール

荷棚から袖仕切りを接続する形で、ステーションポールを採用し、立っているお客様の握る箇所を増設と座っているお客様が立ち上がる際の補助となる役割を担う形状としました。



## LED灯

LED灯が小天井を照らすことで、天井全体を明るくする新しい方式にしています。LED光源と一体となった天井は、影のないすっきりとシンプルな構成としました。



握りやすい形状・目立つ色調の採用 お客様がつかまる吊手・手すりは握りやすい形状とし、色調は目立ちやすいオレンジ色としました。吊手高さは、設置箇所に応じて3段階(1800mm・1700mm・1624mm)としています。



## 車いすスペースの設置

1編成(2両・3両)当たり2ヶ所に設置。



## 多機能トイレ

バリアフリー対応設備の充実。